土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　三篠川　災害復旧助成事業に係る詳細設計業務（その３）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　河川　構造物基礎

ボーリング名	その3-5	調査位置	広島市安佐北区白木町			北緯	34° 33’ 57.5900”
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和2年 7月30日～ 令和2年 7月31日	東経	132° 39’ 39.6200”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 126.42m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1型
総削孔長	7.00m								エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				玉石混り砂礫	GS-Cs	褐灰	rd3		Φ2～100mm前後の礫、玉石を混入する。 礫は亜円礫、砂は細砂～中砂である。	
	124.62	1.80								
2				玉石混り砂礫	G-CsS	暗褐	rd3		1.8m付近より礫、玉石の混入が多くなる。 100mm程度までの礫、玉石を混入する。	
3	123.32	3.10		強風化粘板岩	CsS-G	黄褐	rd3		強風化し、指圧で潰すとシルト状となる。	7/31 3.00
4	122.42	4.00		風化粘板岩		褐灰	rd5		砕くと微細砂状～礫状となる。 5.5m以深は短柱状コアとなるが、5.95～6.3m間は土砂状を呈する。	
5										
6										
7	119.42	7.00								
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図

深度 (m)	N値	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	18	4	4	10	18/300		
1.45							
2.15	28	8	2	18	28/300		
2.45							
3.15	15	4	5	6	15/300		
3.45							
4.15	50以上	16	19	15/70	50/270	270	
4.42							
5.15	50以上	17	20	13/50	50/250	250	
5.40							
6.05	50以上	21	29/70		50/170	170	
6.22							
7.05	50以上	50/40			50/40	40	
7.09							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 深度 (m)	試験名及び結果	削孔月日
1.15	P-1	㊀	物理的			7/30
1.45						
2.15	P-2	㊀	物理的			
2.45						
3.15	P-3	㊀	物理的			
3.45						
4.15	P-4	㊀				
4.42						
5.15	P-5	㊀				
5.40						
6.05	P-6	㊀				
6.22						
7.05	P-7	㊀				7/31
7.09						